

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年6月17日
作成 高齢者支援センター	鶴川第2
作成者	鈴木 智明

1.開催日時	2022年6月10日	(金)	19:30	～	21:00	
2.会場	リモート開催					
3.主催センター	鶴川2	・	鶴川1	・		
4.参加人数	27人					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	9人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	7人	(うち、医師 1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	9人	
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input type="checkbox"/> その他	()				
6.開催テーマ	コロナ禍におけるフレイル予防について					
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>コロナ禍で不活性な生活となっている高齢者が増えている中で、フレイルと共に、オーラルフレイル(口腔機能の低下)の高齢者が増えてきており、専門職種でも共有されていない現状である。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>3/11圏域合同地域ケア会議にて、専門職に対してもオーラルフレイルの予防に対する普及啓発の必要性がある。</p>					
8.会議の内容	<p>○「コロナに負けないまち、つるかわ(フレイル予防)」に向けた今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルリーフレット、フレイル予防のレシピ提供への協力状況確認 <p>○オーラルフレイルに対する取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、戸羽歯科医院の戸羽医師からオーラルフレイルの講義を頂き、アンケートを実施した結果、オーラルフレイルの重要性を理解していないという事がわかった。また取り組みに対して、施設・通所系は実際口腔ケアや栄養指導を実施しており、在宅は専門家につなぐアプローチへと支援がそれぞれ異なる。これらを踏まえそれぞれの視点から11月の圏域合同地域ケア推進会議での、グループワークの内容を考慮し意見交換を行った。 					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>「コロナに負けないまち、つるかわ(フレイル予防)」を目指す上で、オーラルフレイルについて適切に理解をした上で各職種の取組、オーラルフレイル早期発見に繋がる、口腔歯科検診の受診率アップのため、専門職の取組について協議をしていく。</p>					